

## 役務の提供

協議会には食品や手工芸品の製造販売の他、地域のお役に立つ「役務の提供」を行う福祉事業所も参加しています。

### - 環境保全

高齢化や人手不足などで町内会だけでは管理が難しくなった公園のお手入れや個人宅の草むしり・片付け等、ご相談ください。



### - 農福連携

少子高齢化で担い手不足となった農家さんの作業をお手伝いします。職員が作業内容を確認し、利用者さんと一緒に活動します。



## 会員募集

### - 会費種別・会費

協議会が掲げる目的に賛同し、共に活動・支援する会員を募集しております。是非、ご参加下さい！

- ・第1種正会員（社会福祉法人等） 会費年額 24,000円
- ・第2種正会員（福祉事業所等） 会費年額 12,000円
- ・第3種正会員（障がい者団体等） 会費年額 6,000円
- ・個人賛助会員（活動を支援する個人） 会費年額 3,000円
- ・団体賛助会員（活動を支援する企業等） 会費年額 12,000円

### - 会費振込先

口座名：共生社会ふくしま実現協議会 会長 舟山信徳  
銀行名：東邦銀行 支店：飯坂支店  
口座種別：普通 口座番号：512211



いちいちな店合同販売会記者会見（R3.3月） 共生社会ふくしま実現協議会設立総会（R3.9月）



## 地域共生社会とは？

制度・分野の「縦割り」や「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越え、人と人、人と社会が世代や分野・背景を超えてつながりあう社会。一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ・地域・社会を創るという考え方です。福祉の専門領域だけでなく、世代や環境を超えてつながり、相互に支え合う取り組みを育てていくことが、様々な困難を抱えた場合でも社会から孤立せず、安心してその人らしく暮らせる地域社会の実現に不可欠です。一人ひとりの多様な参加機会の創出や地域社会の持続という観点は、地方創生・まちづくり・住宅・地域自治・環境保全・教育など幅広い政策領域に広がっていきます。（参考：厚生労働省資料）

### 持続可能な社会と

『誰にでもやさしいまち、ふくしま』実現のために！

持続可能な社会実現のための指標 SDGs に共感し、障がいがあるかたに関わらず、お互いに手を差し伸べあうことができる優しい社会実現のため「心のバリアフリー」も重要なテーマとして位置付けます。



### 福島地域福祉ネットワーク会議について

（福島市小規模法人ネットワーク化協働推進事業）

市内11の団体が構成。高齢・障がい・児童という福祉の枠を超え、連携して地域課題の解決に取り組んでいます。単独の事業所では実現困難なテーマに関し、分野を超えて知恵を出し合い、互いに協力しながら実践を重ねています。様々な団体・企業・行政各課とも協働しています。



本部 社会福祉法人けやきの村内  
〒960-0261 福島市飯坂町中野字高田前 2-7

事務局 福島地域福祉ネットワーク会議  
〒960-2152 福島市土船字新林 24（青葉学園内）  
☎ 090-6553-1584（吉野）  
✉ fukushima.chiikifukushi.ntwk@gmail.com  
🌐 <http://f-aobagakuen.or.jp/publics/index/44/>

## 設立の目的

本協議会は、福島市内の障がい者団体、社会福祉法人、障がい者福祉事業所、民間企業そして一人ひとりの市民の皆さんをネットワークでつなげ、共生社会ふくしまを実現するための団体です。つながることで大きな力を生み出し、障がいのある人もない人も、地域でともにいきいきと暮らすことがあたりまえな福島市を目指して事業を行います。

## 活動内容

- 障がいのある人の工賃向上のため、物品販売、役務提供の機会を創出します
- 共生社会ふくしまを実現するためのワークショップやイベントを開催します
- 障がいや障がいのある人の理解を深めるため、積極的に情報発信を行います
- 障がいのある人もない人もともに働く場として「カフェ」と「常設販売店」を運営します
- 本協議会の目的に共感し活動に参加していただく会員を募集します

## 役員紹介（設立時）

- 会長 舟山 信悟（社会福祉法人けやきの村理事長）  
副会長 佐藤 明（株式会社いちい執行役員・商品本部長）  
横山 卓也（社会福祉法人福島市社会福祉協議会事務局長）  
監事 古川 彰彦（社会福祉法人つばさ福祉理事長）  
小室 雅幸（社会福祉法人福島縫製福祉センター所長）  
役員 原 美子（株式会社とうほうスマイル）  
竹田 敬明（就労継続支援B型事業所すてっぷ所長）

株式会社いちい  
代表取締役社長  
伊藤信弘さま



## ▶ 高福連携（いちい様との連携）

### 〈応援メッセージ〉

株式会社いちいは、障がいのある人の自立と社会参加、および共生社会の実現のため、いちい全店での授産施設の商品販売を通してこれからも応援して参ります。また、この「高福連携」の取り組みを通じ、SDGsにも含まれる“住み続けられるまちづくり”“誰もが公平な社会”の実現を目指します。



## 組織図

共生社会ふくしま実現協議会

### 販売促進部会

福島市内の障がい者福祉事業所で利用者さんが作った商品をお買い求め頂くため、企業等との連携を促進させます。商品が売れることで利用者さんの工賃・やり甲斐の向上に結び付けています。



### 販売促進部会 活・動・紹・介

株式会社いちい様は、流通における地域貢献策として障がい者福祉事業所の商品販売にご協力下さっています。温かなサポートのおかげで、市内11店舗にて20事業所がお菓子や手工芸品を販売。常設の販売場所が無かった福祉の世界に、新しい風を起こしてくださいました。

### イベント部会

「いきいき！ふくしまマーケット」や合同販売会を企画し、広く市民の皆さんに障がい者福祉事業所の商品をご提案。社会との接点を作り、生活に取り入れて頂くことで障がいそのものへの理解も促進させます。



### 情報発信部会

障がいのある方、保護者、理解して下さる方、支援して下さる方、応援して下さる方に情報をお届けするラジオ番組、活動の様子やイベント情報等に関し、ゲストの方をお呼びして直接お話を伺います。

▶「原美子・木曾明美のポコポコポコっとチャレンジ」  
FM-POCO 76.2  
毎週土曜日 16時 30分～



### 拠点運営部会

令和6年度、福島市役所西側に（仮称）市民センターが建設されます。その1階は「共生社会を実現させるための拠点」として整備される予定です。当協議会ではそのスペースに障がいのある方がいきいきと働くカフェや常設の販売拠点をオープンさせる予定です。メニューの開発など準備作業を進めます。



## ▶ EC サイトでの販売（西形商店様との連携）

福島の商品をギフトセットにして販売するサイトを運営されている「エールギフト西形商店」にて、障がい者福祉事業所の商品も販売させていただきます。自前の販売サイトを作ることが難しい福祉事業所にとって、大変有難い連携となっています。



エールギフト西形商店  
福祉事業所の商品が  
購入できます。

### 〈応援メッセージ〉

ももとは朝ドラ「エール」関連商品の販売をしようと土産産を立ち上げるつもりが、コロナの影響で観光客の来福が見込めなくなり、急速ネットショップに方針転換して立ち上げたのが「エールギフト西形商店」です。朝ドラ関連でできた新品から、ももとも有名な商品までいろいろなお品を取り扱っていただいております。今回のご縁は当初想像もしていませんでしたが、ショップのコンセプトが「関わるすべての方にエールを送る」です。利用者の皆さん、事業所の皆さんの頑張る気持ちを後押しするのが私の役目と心得、良い商品を多くの方に見ていただける機会を作れるよう、微力ながら協力させていただきます。

株式会社西形商店  
代表取締役社長  
西形吉和さま

